



平成30年11月9日

各位



会社名 ぷらっとホーム株式会社  
 代表取締役社長 鈴木 友 康  
 (コード番号 6836 東証第二部)  
 問合せ先 管理部長 高橋 誠二  
 (TEL 03-5213-4376)

## 第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月11日に公表した平成31年3月期第2四半期累計期間業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表した平成31年3月期通期業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成31年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	707	34	33	42	33.12
実績値(B)	555	97	96	99	78.19
増減額(B-A)	152	63	63	57	
増減率(%)	21.5	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	646	63	61	64	51.16

#### 2. 平成31年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,646	44	44	28	22.08
今回修正予想(B)	1,150	158	157	162	127.74
増減額(B-A)	496	202	201	190	
増減率(%)	30.1	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	1,299	121	118	124	97.95

### 3. 差異及び修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、前事業年度から引き続き出荷数の高い伸び率を見込んでいる「OpenBlocks（オープンブロック）IoTファミリ」について、パートナー企業が様々な業種の企業に対して提案するIoTシステムやサービスへの採用が進んでいますが、IoT導入はエンドユーザーの経営体制や構造に変化をもたらす性質を有することから、導入に向けたエンドユーザーの意思決定に時間がかかり、本格的な受注獲得には時間がかかっております。また、当社製品を含むIoTを導入した企業への直販が一段落したことから、前年同期に比べ出荷数は減少となりました。製造業向け製品である「OpenBlocks IDMアプライアンス」及びIoTのSaaSサービスについても新規顧客の獲得に注力したものの計画値には及ばず、IoT事業の売上高は予想に比べ未達となり、全体の売上高は予想を下回る結果となりました。

損益面につきましては、売上高の計画未達の影響により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも予想を下回る結果となりました。

また、通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間の実績及び直近の受注動向を踏まえ、後述するサービス型事業モデルの展開などによる将来の業績向上は見込めるものの、当期中の業績向上への寄与は限定的な状況にあります。当社は、初期IoT市場を牽引した初期顧客への製品導入が一段落し、市場の成熟に伴い、今後各産業の主流と期待されるIoT中期市場の軸となる顧客群への製品導入および必要なエコシステム形成に営業活動を集中しております。これらの営業活動は、顧客の経営上の意思決定やパートナー企業の販売担当者等への当社製品の理解を浸透させる必要もあることから売上計上までに一定期間要することが想定され、当期中の売上計上は難しいと判断したことから、当事業年度のIoT事業の売上高は当初予想に達せず全体の売上高は当初予想を下回る見通しとなりました。

損益面につきましては、売上高の計画未達の影響により、営業利益、経常利益、当期純利益とも当初予想を下回る見通しとなりました。

従来より予定しているサービス型事業モデルへの移行につきましては製品開発が順調に進行しており、9月にはIoTリモートマネジメントサービス「AirManage（エアマネージ）」を含むサブスクリプションをIoTファミリの全モデルに標準添付するなど、サービス型事業モデルを強化しました。この取り組みは、今後サービス事業の累積的な売上増を図るものであります。

当社は、引き続きIoT事業に経営資源を集中し、拡大が見込まれるIoT市場に向けた製品とサービスの開発やパートナー企業との連携、顧客の開拓に注力してまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上